

安城市内で合同 現地研修会開く

農工研岡崎支部ら

愛知県農業土木研究会
岡崎支部(朝日啓夫支部
長)は26日、安城市内で
愛知県農業土木測量設計
技術研究会(安藤敦司会
長)と、2017年度の
合同現地研修会を行っ
た。



同支部の石橋嘉彦技術
積算委員長は、「現場施
工では設計と現地との整
合性が問題になるケース

が少なくない」と指摘し
た上で、「高品質の施工
には発注者、コンサル、
施工業者がしっかりとコ
ンセンサスを取りながら
進めることが重要。有意
義な研修にしてほしい」
とあいさつした。

研修会には両会員の
他、愛知県西三河建設事
務所から久野容一建設課
長ら80人が参加。現地研
修では「経営育成基盤
整備事業高棚地区その11
工事」現場を視察した。
工事の説明の後、ドロー
ンのデモンストレーショ
ンなどを見学した。写
真。室内研修では、視察
した現場の課題などに
ついて検討会を行った。
また、愛河調査設計の
山本成竜社長が「ICT
関連技術およびi-CT
nの紹介と動向につ
いて」と題して講演した。

誤：(正)愛知県西三河農林水産事務所